

議会報告会実施報告書

開催日時	平成26年11月19日(水) 18時30分～20時55分		
開催場所	西当別コミュニティセンター	出席者	28名
担当議員	C班	高谷議長・後藤副議長・岡野議員・小早川議員・稲村議員・島田議員 桐井議員・臼杵議員・西村議員 (事務局3名)	

◎議会報告に関する事項 (議会報告会別冊資料による)

- ・各定例会等の報告(平成26年5月臨時会・6月定例会・9月定例会)
- ・議会改革の取組み報告

◎懇談に関する事項 (各町内会提出の各懇談テーマによる)

(質疑応答)

町内会：道の駅について、規模など、どういう構想で進めるのか。

道の駅や図書館はどのようなかたちで、進められ、作られるのかというのは、今の段階では一部の人が知らないのではないかと。今までの進行状況等を教えてほしい。

議 会：これまでの道の駅の作業経過について、平成26年3月に道の駅建設に向けた基本的方向性を定める当別町道の駅基本構想を策定した。町民10名で構成する当別町道の駅基本計画検討委員会を6月に設置し、道の駅の施設機能、管理運営主体のあり方の2点について、検討委員会へ諮問を行い、10月30日に検討委員会から町長へ答申をした。検討委員会の答申を踏まえ、当別町道の駅基本計画の策定作業が完了した。基本計画の内容は、道の駅の施設機能の整備、施設の配置案、規模の想定、管理運営主体のあり方などとなっている。今後、地質調査、用地測量、基本設計業務委託、管理運営主体の立ち上げに向けた準備、補助金申請の準備、道の駅建設に伴う各種法的手続き、平成27年に実施設計、道の駅の管理運営主体の正式な立ち上げ、参加する方への説明や募集、開業時期は平成28年9月頃を目指す。図書館について、図書館像検討委員会が立ち上がっており、4回委員会を開催している。来年の2月までに諮問された答えを出す。諮問の中身は当別町にふさわしい図書館像の具体的な方向について、図書室の図書館機能の充実について及び環境整備について、ということで諮問している。

町内会：少子化や高齢化対策について、町の対策はどういうものがあるか。

議 会：子どもに関わる施設の環境整備として子ども発達支援センターが建設中である。公園の整備を随時実施している。今年の4月から西当別小学校でプレイハウスを実施している。また乳幼児を持つ家庭へおむつ用ごみ袋の無償配布を実施、放課後の子どもの居場所づくり、英会話の指導助手の配置、などを行っている。当別は自由に動かせるお金が少ないため、事業を選別してお金をそちらに回すということになり、新たな事業に振り替えることができない。大胆な発想で実施しないと変わっていけないと思う。他の市町村との差別化した事業を持たないと人

は来ない。道の駅について、あまりお金をかけすぎると借金が増え、子育てや高齢者に対する予算を削らなければならない。なるべくお金をかけない方法でいいものを作っていく選択をしていかなければならない。国の補助を組むと4割、5割の補助だがファンドを組むことによって町の負担が5%くらいの出資で資金調達ができるメニューもある。そういったところに計画を立てて検討を町もやっている。今後実施計画の中でどこが主体となって財源はということになるが、皆さんとこれでいいのかという議論をし、良ければゴーサインを出すかたちになる。農業者や商店街も含め6次産業化の施設としてどうあるべきか含めて総合的に考えていかなければならない。そのことが少子化対策、高齢者対策の財源獲得につながる。

町内会：レクサンド記念公園で、夜中の花火の使用や多人数での騒音等の問題が発生しており、警察等にも通報しているが改善されない。また、花火が軒先に飛んだり、タバコの吸殻が落ちており、山火事にならないか心配している。罰則を伴うような条例を制定してもらいたい。スウェーデンヒルズ地区を住居専用地域として指定して欲しい。

議 会：当別町都市公園条例があり、火を使った場合については5万円以下の罰金となっている。状態が悪化しているということであれば、条例の罰金適用、それでも対応できなければさらに強化する必要があると思われる。条例でできない場合は、迷惑条例というのが全国であるので、条例を作って抑える方法もある。住宅専用地域の指定について、ヒルズ地区は白地地区、何も指定されていない地区になっているので、ホテルや工場ができるようになってきている。これではヒルズ地区の住環境が守られないということで、住居専用地域に指定して、かつ建築協定も平行して維持していくことにすれば建築協定に入っていないところは建てられないことになる。

レクサンド記念公園は、前からごみや騒音については問題が起きていた。そういった面で、色々規制をかけようとしており、議会としても住民の意見を聴きながら大事に進めていきたい。公園はスウェーデンヒルズの町内の方はもちろんだが、当別町の皆さんの公園なので、議会としても広く意見を聴いていきたい。都市計画区域について、無指定の地域から指定をかけるとなると、都市計画審議委員会で長い時間、行政と住民で協議を積み重ねていかなければならない。当別町の都市計画の方針では用途指定とは考えていないが、地区計画をもって、良好な住環境を保全する方針である。用途指定を行うとすれば、都市計画審議会を開くなど手続きがあり、時間を要する。

町内会：雪対策について、全町として考えるべき問題で、**26町内会以外も何割かの負担を検討すべきではないか。**

議 会：雪対策の問題についても、町内会の組織率も下がっていく、町内会に入らない人が出てくるなど、町内会運営にも支障がでている事は理解している。この3年間の豪雪により、ダンプ台数や除雪業者の問題など除排雪体制の見直しなどが必要

になっていると思う。

町内会：空き家・公園遊具の問題について

議 会：公園遊具の危険箇所の撤去等については、役場の方でしっかりと対応するようにしていきたい。空き家・空き地については事前に町内会を通じて所有権の把握をしていく事も今後の課題であると思う。

町内会：社会福祉協議会の町内会への負担金のあり方と寄付金が町内会の負担金となっている町内会もあるので、大きな負担となっている。

議 会：社会福祉協議会自体の財源が減っていると理解しているが、議会としては社会福祉協議会に対して町が補助している補助金を増やせないかどうかを、新年度予算について議会として審議していきたい。

町内会：町内会館の譲渡情報の問題について

議 会：第5次総合計画の中に、町内会と行政のあり方についての項目で、町内会がしかるべき組織になった時には譲渡するとなっているが、現在それを進めようと言う事にはなっていない。町内会の反対のある中では、行政から押し付けるとの事ではなく今後とも協議していく問題であると思う。

町内会：防災の問題について、マップづくりや災害に対応した避難所、研修・訓練等の実施状況について

議 会：防災マップ作りについては、新たに作成して新年度には全戸配布する予定であり、近年の集中豪雨等の災害にも迅速に対応するよう働きかけていきたい。避難所の数については、現在63箇所の避難所があるが、洪水の想定の場合には箇所の不足もあり、適切な対応を働きかけていきたい。訓練については、災害対策本部等の訓練も含めて、あらゆる災害に対応するようしっかりと訓練していただきたい。

町内会：道路・下水を含むインフラ整備の環境問題について

議 会：太美駅前のJA倉庫の前の道路舗装については、町道とはなっていないので、所有者の状況を確認して、どういう整備が望ましいのか検討していく必要があると思う。

町内会：街路灯・防犯灯のLED化の問題について

議 会：先に、西当別連絡協議会等より整備要望陳情書が出された事を受け、常任委員会で状況を確認し町側と協議した中で、歩道等の改修に入っているところである。街灯については、全体改修に係る費用等の報告を受けており、町の計画としては、1年間に4基ずつ改修していく計画との事である。防犯灯のLED化についてはそれぞれの町内会において町側に要望していく事となると思う。

町内会：農業と福祉の問題について

議 会：基幹産業である農業については、今までも農協を中心として農産物のブランド化を行ってきており、農産物のPR等の努力を行ってきている。今後とも農業者が互いに連絡を密に取り合って、更なるブランド化を図っていく必要があると思う。福祉については、医療大学と町が、包括的な福祉の広範囲に亘る部分について協定書を結んでおり、今後も人材育成や教育の振興などについて、前向きに良

い結果になるよう期待している。

町内会：企業誘致と雇用の問題について

議 会：企業誘致については、11月の道新に載った通り、日通商事が町有地2箇所にメガソーラーの太陽光発電所を作る予定をされており、これが第1号になると思う。これは災害時の電力供給の協定も行っており、災害時の対応にもなると考える。農業法人については、企業参入の農業法人の誘致については、色々な問題があると思っている。

町内会：再生エネルギーの問題について

議 会：9月の道新に載った事であるが、町有地に太陽光パネルを設置して、国の補助金を受けながら、コミュニティバスを運営している下段モータースと共同で設置し、コミュニティバスの運営経費に当てる予定である。土地改良区等で青山ダム等で計画していた、農業用水を活用した発電事業の計画は中々進んではないと聞いている。

町内会：当別町のPRの問題について

議 会：当別町のPRについては、札幌市等の近郊地域に対しては、道民の森や当別ダム・ロイズ等が当別に有ることは知れ渡ってきていると思うが、全道・全国的にはまだPR不足と感じている。今年は、当別のイメージキャラクターを公募して、先日決定したところであり、今後はどういう風にこれを結びつけて、この町をPR出来るかと捉えている。今の町長も全国の会議等の事あるごとに、パンフレットを持ってしっかりと当別をPRしていると聞いており、今後においては、ユニークな政策や事業を行っていくことが、当別のPR的にも大きなインパクトになっていくのではないかと思う。

町内会：太美駅前の農協の倉庫群の中には空いた倉庫が多くなっているのでは。

議 会：この問題については、今後の課題としてお預かりしたい。